

コンサルティング事例④

建設業D社 従業員 48名 指導期間 6年

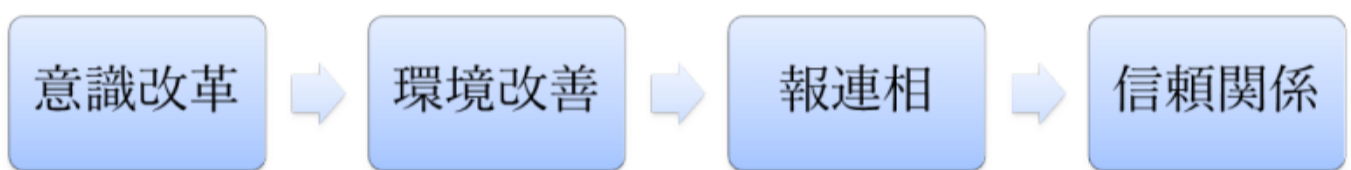
相談内容：

常時、請け負っている建設現場が3カ所程度あり、社員が現場ごとに分かれて作業を行っている。それぞれの現場には、整理・整頓・安全など垂幕を掲げてはいるものの、作業現場内は標語を無視しているかの如く工具等が雑然と置かれている状況である。だらしない先輩の下で育ってしまった若い社員は、雑然としている現場が当たり前と思っている様である。日頃から注意はしているが、日常のだらしなさも作業に出てしまっているように思う。作業報告も年々ずさんになってきており、進捗の把握もさることながら管理者の目が届かない所での安全についても不安が残る。

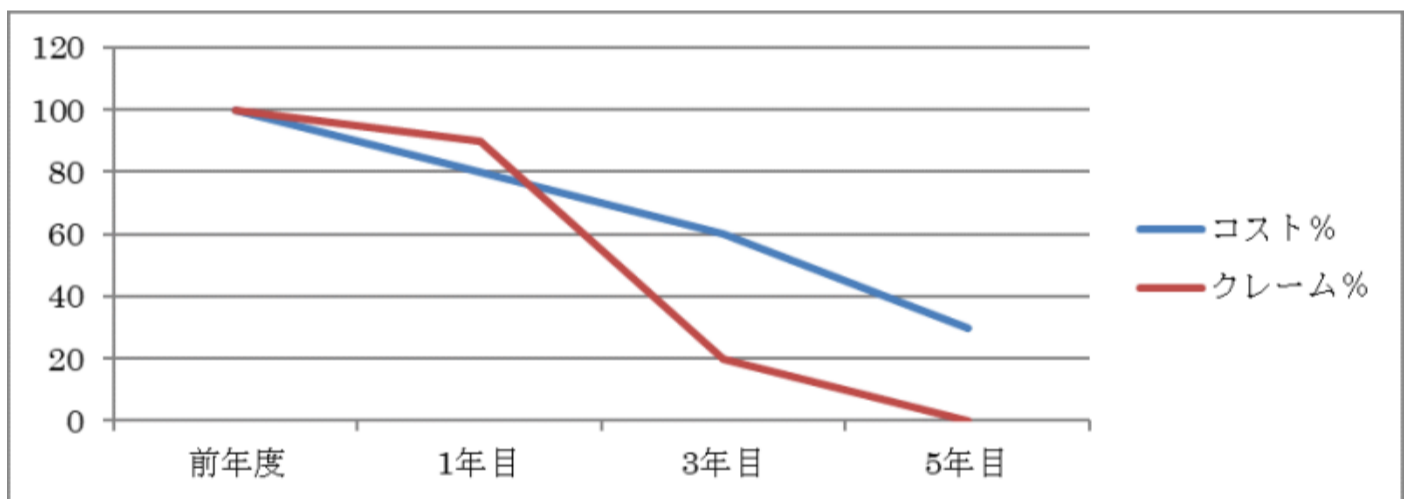
問題点：

- 作業に対する姿勢が悪く、工具や重機に対する扱いも雑になっている。
- 安全が他人事になっており、作業現場におけるルールも浸透せず守られていない。
- 仕事に協力性が見られない。
- その他

問題解決のための取組



- 1.工具や重機のコストと扱い方を再認識させる。
- 2.仕事の効率向上へ向けての現場環境づくり。
- 3.報告・連絡の重要性を理解させ、伝え方を明確にする。
- 4.情報・作業の共有化へ向けて、仲間との信頼関係づくり。



お客様からの声：

弊社は建設業です。

当時、不景気の影響が弊社でも出始め、改めて経営について考えておりました。

長年大きな事故も無くなんとか続けてきましたが、作業現場の状況の悪さから、工具の紛失によるコスト増加や、お客様・元請業者からのクレーム等が目立っており、社員教育が全く出来ていないことに恥ずかしながら悄然しました。

どのように社員を育てたらよいか迷っていたところ、標語の一部にもある5S活動に考えがたどり着き、5Sの専門家である前田さんにご相談をさせていただきました。

前田さんには、些細な事まで親身に相談に乗って頂き大変感謝しておりますが、コンサルタントとお付き合い自体初めてのことだったので、当初は不安があったのも事実です。

しかし、一方的な指導ではなく会社側の意見も取り入れながら、社員に寄り添って伝えてくださるので社員との距離が以前では考えられないくらい近づきました。

おかげで、多少なりとも社長の意見も皆が聞いてくれるようになりましたね。指導中はもちろん、終了後の時間も前田さんは一人ひとりに声を掛けてくださるので社員のやる気もみるみる変わりました。

ご指導頂き6年目を迎え、社員の成長により昨年からはクレームが無くなりました。お客様・元請業者との信頼関係がより深くなったのだと感じております。経費削減もできでおり、弊社にとっては嬉しい限りです。

まだまだ頼りにさせて頂きたいので、今後もどうぞ宜しくお願いいたします。